

Ⅱ 乳幼児をもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅱ-4 子どもは「生き生き」してる？(4～5歳児)

対象：4～5歳児を子育て中の保護者3～20人
時間：90分程度

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4～5歳児の特徴を把握する。 ○ 4～5歳児の「生き生き」した活動を促すためのポイントを学ぶ。 		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの「生き生き」した姿をできるだけ多くイメージし、子どもの気持ちへの共感が大切であることに気付くことができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名札 ○ 筆記用具 ○ 2枚のワークシートを別々に人数分用意する。 ○ 付せん紙を人数分用意する。 ○ 模造紙をグループ数分用意する。 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○名札づくり ○自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3～4人のグループをつくる。 ・ 自己紹介では、氏名と今日呼んでほしい名前、今日参加した理由などを互いに話すことでリラックスできるようにする。 	名札
展開 25分	ワーク1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自で「生き生き」していた場面について付せん紙に記入し、ワークシートに貼る。 ・ グループで話し合い整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの「生き生き」していた場면을思い出し、4～5歳児の特徴を共有することをねらいとする。 ・ プレーンストーミングでできるだけ多く出すようにする。 ・ 書いたものを発表し合う中で、どんなときに4～5歳児が「生き生き」しているかを整理していく。 	ワークシートの1枚目 付せん紙 模造紙
20分	ワーク2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがなぜ「生き生き」できたのかグループで話し合う。 ・ グループ内で出た意見を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの立場になって考えことをねらいとする。 ・ グループの中で発言しやすい状況を作る。 	
30分	ワーク3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読んで関わり方のヒントを得る。 ・ 実行しやすいアイデアを出し合い、ワークシートに記録する。 ・ グループ内で出た意見を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「生き生き」した活動を促すポイントに気づき、実際にできることを出し合うことをねらいとする。 ・ 無理をせず、できることから行うことを勧める。 	ワークシートの2枚目
まとめ 5分	ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ 感想を記入する。 ・ 発表し合い、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何人かに発表してもらい、全体で共有する。 	